ニカラグア内政・外交・経済（２０１４年１２月分）

【概要】

<内政・外交>

　内政では、１１日閉会した今期通常国会は６法を成立させ、２０１４年通年で合計３７法案が成立した。また、その後の臨時国会において身分証明書法改正案を可決した他、オルテガ大統領はアルビス国軍司令官の任期延長の大統領令を発出した。

外交では、ハレスレーベン副大統領がルセフ・ブラジル大統領の就任式に出席、ロシアとは両国外交関係樹立７０周年を祝した。その他、１４日、オルテガ大統領がハバナにおけるＡＬＢＡ首脳会議に出席した。

<経済>

両大洋間運河建設計画に反対する住民の抗議活動が頻発した。司教会議は運河計画の情報開示を求めると同時にルート沿い住民への適切な対応を求めた。こうした中、２２日には運河建設の起工式が開催された。国会では、税制改革法改正案が可決された。コーヒーセクターは新たなさび病被害の可能性に警鐘を鳴らした。

１　主要な動き

（１）政治

ア　両大洋間運河建設計画の起工式の実施

２２日午前、両大洋間運河建設の起工式が太平洋側の起点に当たるブリトー市において実施され、ハレスレーベンス副大統領、Ｗａｎｇ Ｊｉｎｇ・ＨＫＮＤ社社長等運河関係者及び政府機関・民間企業代表が出席した。同起工式では、ＨＫＮＤ社社長はこの日が歴史に残る重要な日となる、同運河はニカラグア住民生活及び商業活動に多大な利益をもたらす旨強調した。また同日夜にはオルテガ大統領出席の下、首都マナグアにおいて関連式典が開催された。一方、同日、運河建設の反対派はプレスリリースを発表するとともに会見を開き、Ｆ／Ｓの終了前に建設を開始することへの懸念を表明し、同運河建設によるニカラグア湖への環境面における影響を批判した。

イ　運河建設反対派住民の拘束

　１１月以降、活発化した運河ルート沿い住民の同運河建設反対運動は、１２月に入ると数千人規模に膨れ上がり、２４日、国家警察は国軍と共に数日間にわたり幹線道路を封鎖していた反対派住民の強制退去措置をとった。右衝突に伴う負傷者は合計７０名を超えた。また、２３日には反対運動を支援していた野党ＭＲＳ代表等が国家警察により一時拘束された。３０日には拘留者は全て釈放されたが、今後、運河建設の開始に伴う反対派住民との対立の激化が懸念されている。

（２）経済

ア　米キューバ関係再構築によるニカラグア産葉巻への影響

　米国を筆頭に世界７０カ国で販売されているニカラグア産葉巻が年間２２８百万ドルの外貨収入をもたらし、年間６％の成長をとげている中、今後、米キューバ関係が再構築されることにより、当国産葉巻と競合するキューバ産葉巻が米国市場に並ぶことになると予想されている。民間セクターは、競争相手が出来る事により、ニカラグア産葉巻の品質改善・効率的な生産につながる上、葉巻の消費人口拡大の機会になり得るとしている。民間企業最高審議会（ＣＯＳＥＰ）会長は、米キューバ関係の再構築に対し、経済セクターに影響が見られるまでには時間はかかるであろうが、両国関係の改善はニカラグアへのビジネスチャンスをもたらし得るとの期待を寄せている。

イ　２０１４－２０１５年収穫期のコーヒー

２０１４年－２０１５年収穫期前半のコーヒー輸出は、コーヒーの国際市場価格の上昇及びコーヒー需要の伸びが後押しし、好調なスタートを切った。２０１４年１０月～１１月の輸出総額は前年同期比１７４．２９％増加し、主な輸出先は米国、ベネズエラ、ドイツ、ノルウェーとなった。他方、２０１４年の干魃等の異常気象は不安定な気温や水不足をもたらし、コーヒーの成熟を遅らせている。ヒノテガ県コーヒー協会会長は、コーヒーの成熟の遅れは、収穫量及びコーヒーの質に影響するだろうと述べた。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | **2014年** | **2013年** | **2012年** |
| **1２月** | **１１月** | **１０月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 6.4% | 8.1% | 6.6% | 5.7% | 6.6% |
| **貿易収支（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | △304.2 | △2792.3 | △2,740.7 |
| **輸出FOB（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 197.1  | 2,400.7 | 2,677.4 |
| **輸入CIF（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 544.4 | 5,624.1 | 5,851.3 |
| **海外送金 （百万ドル）** | **未発表** | 91.0 | 93.5 | 1,077.7 | 1,014.2 |
| **外貨準備高（百万ドル）** | 2,276.18 | 2,126.2 | 2,169.6 | 1,993.0 | 1,887.2 |

（出典：ニカラグア中央銀行）

２　クロノロジー

（１）内政

４日　グラナダ及びマタガルパの両司教は、最高選管に対し選挙システムの改革を請求。

９日　オルテガ大統領、国家警察学校の卒業式に出席。

１５日　国会、閉会。

（２）外交

１日　オルテガ大統領、バスケス候補のウルグアイ大統領選挙勝利に祝辞。

３日　ポール・オキスト大統領顧問、ＣＯＰ２０に出席（於：リマ）。

１７日　オルテガ大統領、米キューバ関係改善に向けた合意に敬意表明。

３１日　ハレスレーベン副大統領、ルセフ・ブラジル大統領の就任式に出席。

　　　　オルテガ大統領、２０１５年１月１日のキューバ革命勝利５６周年記念に祝意表明。

（３）経済

１日　オルテガ大統領、ニコラス・ガルト・ラテンアメリカ米商工会議所協会（ＡＡＣＣＬＡ）会長と会談（於マナグア）。

１０日　運河委員会はニカラグア教会会議（ＣＥＮ）に対し両大洋間運河計画を説明。

　　　　両大洋間運河ルート沿い住民、マナグアに集結し、ニカラグア人権センター（ＣＥＮＩＤＨ）関係者等とともに運河計画に反対するデモ行進を実施。

　　　　国会、税制改革法改正案を可決。

２０日　ヌエバギネア市民は同市において運河建設反対デモを実施。

２２日　HKND社はリバス県ブリトー市において運河建設の起工式を実施後、別途関連式典を「人民の家」においてオルテガ大統領出席の下開催。

　　　　運河ルート沿い住民、エル・トゥーレ付近において約２千人規模の反対デモを実施。（了）